

第50号 | 2023年1月号

WISH TIMES

“冬のおくりもの”

寮生の日常とは？生活のバランスと感謝の気持ち
寮生のスクールライフ特集

寒い今聞きたい世界各国の曲
冬プレイリストおすすめ

いろんな愛。そして寮生のご自愛方法とは？
愛って何だろう？

寮生が見てる景色
Photos by Marina

インタビュー記事
Best SI Program, WISH Event of 2022

卒寮RA特集
RA YEARBOOK

寮生のスクールライフ特集

大学生活においてバランスを取ることは、実践すべき重要なことだと言えるでしょう。大人への橋掛かりとなる時期を生きる者として、一人ひとりが優先順位と意思を持って行動していることと思います。そんな私たちは何とか報われようと必死な、ある意味夢想家なのかもしれません。将来の自分のため、両親のため、あるいは大切にしているコミュニティのため...方向は違えど、私たちは毎日、無意識下で大きなことに取り組んでいます。この贈りものの季節に、WISH寮生の日常生活を探り、彼らのモチベーションを見つけてみましょう！

Writer:
Xan

Translator:
Yuha

Designer:
Marielle

Fu-Chen

社会科学部 1年

1日の始まり

Fu-Chenさんは起きてすぐに顔を洗うことで新しい一日を気持ちよくスタートさせるそうです。そのあと朝食でエネルギーをチャージ！

おすすめの授業

社会科学部の『現代社会問題』についての授業をお薦めしてくれました。授業では彼女の興味分野である資本主義についてカバーしているそうです。



今、ありがとうを伝えたい人

「家族、友達、そして今までの人生で出会ったすべての人に感謝しています。」

お気に入りタイム

Fu-Chenさんは多趣味。暇さえあれば友人を連れてスポーツ観戦や音楽ライブに足を運びます。しかし、彼女の趣味は趣味にとどまりません。ギターを手に入ればアーティストに変身。内面に眠るテイラー・スウィフトと向き合いながらギターを弾き、歌い、そして踊ることに没頭します。

モチベーション

「私は自分自身が豊かな教養を身につけるためにハードワークをこなしていますが、両親に私のことを誇りに思ってもらいたいという気持ちもあります。愛と誠意が私の周りにいる人に伝わるといいなと思っています。」

Riho

国際教養学部 1年

1日の始まり

「朝起きて顔をぱっと洗って、朝食は簡単に済ませます。バナナとヨーグルトとか、たまにはパンもあったり。あとは歯を磨いて、お皿を洗って、荷物を用意したらWISHを出発です！」

おすすめの授業

彼女が一番燃えているのは韓国語のクラス。というのも彼女は生粋の韓国文化ファン！「K-popの歌詞やTV番組内の会話が少しずつわかる感覚にハマります。」

お気に入りタイム

「普段は授業やアルバイトでWISHにいないので、自由時間は部屋にこもってリラックスしたいですね。よくお菓子を片手にTV番組や映画を観たりも。」

WISHに来てから友達と料理するのも楽しんでいます！」

そんな彼女は授業外でも中国語を楽しく学んでいます。中国語を実家にいる弟と一緒にオンラインで学んでいる彼女は、そのクラスの度に実家や聞き慣れた生活音に触れて郷愁の念を抱くそうです。



モチベーション

「たぶん両親だと思います。WISHに来て親元を離れてから、もっと親に感謝すべきだなと思うようになった気がします。この環境に慣れて自立しなきゃなって。両親なくしてはこんなに素敵な友人や親戚に囲まれた母国、日本に戻って勉強することはなかったでしょう。」

今、ありがとうを伝えたい人

「マーティです！
外出時間がバラバラでなかなか会えませんが、素敵なルームメイトです。住みやすい環境を作ってくれて、本当に感謝しています。」



Nanako

政治経済学部 1年

1日の始まり

「起きて10分ストレッチをして歯を磨きます。そのあと朝食のプロテインスムージーを作って準備完了です！」

おすすめの授業

「バドミントンは過去に力を入れていたことがあるので、授業でも楽しんでます。高校時代にはプレーする時間がなかったので授業で試合できることにとてもわくわくしています！特に秋学期終盤の2回は試合なので楽しみにしています。」

お気に入りタイム

リラックスできる時間が欲しいときは、部屋でNetflixを見てネイルをするそう。パンを焼いて友人とシェアするのも楽しいそうです！

「最近ボクシングジムとホットヨガスタジオに通い始めました。大学生活とアルバイトと運動の両立はまだ完璧ではありませんが、バランス調節を今のところ楽しめていると思います。」

モチベーション

「親ですね。WISHに来てから、今までいかに自分が恵まれていたか思い知らされました。離れても変わらず支えてくれる親には感謝してもしきれません。」

今、ありがとうを伝えたい人

「友達です！こんなに寮生活が楽しいなんて思いもしませんでした。入寮初日からたくさんの人と繋がって、家にいるような気分でした。」

勉強や何かに打ち込むことは大学生として大切にすべきことですが、今日に至るまでに犠牲にしたことや努力を忘れてしまいがちです。中には理想を描くあまりに期待が高まりすぎてしまう人もいかもしれません。時にはプレッシャーに押しつぶされそうになることもあるでしょう。それを軽減する方法を見つけることは、勉学に打ち込むことと同じくらい重要です。趣味に没頭し、心落ち着ける環境に身を置くことは贅沢ではなく、必要不可欠です。生活のバランスを取ることが重要なのです。

辛いとき、一人ではないことを忘れてはいけません。誰のために頑張るのか？何に苦戦しているのか？この季節に贈り合うのは、物理的な贈りものだけではありません。支え合いや協力のこころも贈りものです。このお祝いの季節に、優しさを贈り合って心を温めてみませんか？

冬のおすすめ プレイリスト

スターバックスの期間限定の新作が出ると新しい季節がやってきたのを感じる方も多いと思います。今年はクリームブリュレラテ、ジンジャーブレッドラテ、トーステッド ホワイトチョコレートモカなど甘党の皆さんにとってはたまらないはずです。私はたとえば、骨の髄まで凍っており、この寒さに適応するための服に悩んでいるところです。（シンガポールの平均気温は30-34度、雨の日は28度まで下がると寒いと言われています。）今回は、WISHの寮生にインタビューして、冬のプレイリストや印象的な冬の体験談を聞きました！



Writer: Natsumi
Translator: Momo
Designer: Hanna



イサ

(11F, 国際教養学部,
フィリピン出身)

豆知識:

**12月はフィリピンで
はボランティア月間
です!**

- 「Snowman」 / Sia
- 「BUILT FOR LOVE」 / PJ Morton
- 「Look at me」 / George
- 「Winter Bear」 / V (BTS)
- 「Is this the love that I need?」 / FLU



「コロナの間、人々は二つのタイプに分かれるんです。余った時間でコンフォートゾーンに居たい人間になるか、その時間を人のために使う人間になるかです。私は後者になりたかったんです！」 Ysaは、私と一緒に手作りのケーキを食べながら、2020年の最初のコロナの冬に、学校に通えない子どもたちとZOOMセッションをしたり、クリスマスに困っている人たちにお米の入った袋を配ったりと、フィリピンでのボランティア経験を思い出していました。パンデミックの最中、経済が冷え込むと、より多くの生活者が影響を受けるようになりました。しかし、イサは人々の笑顔を見ることで、温かい気持ちになり、もっと頑張ろうという気持ちになりました。その冬、ボランティア活動の計画を立てるとき、彼女が最もよく聴いていたのが、これらのおすすめの曲です。



- 「Qaafirana」 / Arijit Singh
- 「You」 / Armaan Malik
- 「Night Changes」 / One Direction
- 「Rangisari, Kanishk」 / & Kavita Seth
- 「Ek Main Aur Ekk Tu」 / Benny Dayal

ディビージャにとって、日本での初めての冬です。木々やお店は赤・白・青のイルミネーションで彩られ、多くの日本の家庭はクリスマス用のKFCフライドチキンを急いで用意しますが、インドの12月はあまり賑やかではありません。冬の風物詩といえば、1月中旬に西インドを中心に行われる「マカール・サン克蘭ティ（凧揚げ祭り）」。

地域によって異なりますが、凧揚げを楽しんだり、特別な料理を食べたりします。冬ではありませんが、インドにも贈り物の文化があります。ディワリは5日間にわたって祝われ、それぞれの日には異なる象徴的な意味があり、人々は家族や友人と集まり、贈り物を交換したり、おしゃべりをしたり、花火を楽しんだりするのだそうです。兄弟姉妹の関係を祝うラクシャーバンダンでは、兄弟が姉妹に贈り物をし、愛を表します。



ディビージャ
(9F, 政治経済学部,
インド出身)





アイシャ (11F, 国際教養学部, カザフスタン出身)

豆知識: カザフスタンの独立記念日は12月16日です!

- 「Poison Tree」 / Grouper
- 「White Winter Hymnal」 / Fleet Foxes
- 「The Perfect Girl」 / Mareux
- 「Oblivion」 / Grimes
- 「Dayflower」 / Cathedral Bells



「カザフスタンの冬はとても厳しいから、みんなビタミンDが足りず、冬になると季節性うつ病になるんだ。だから、冬のプレイリストに入れた曲は、みんな憂鬱な曲ばかりなのかもしれませんね」とアイシャは冗談を言います。シンガポール人の血が流れる私は、日本の気候の変化や寒さ（特に中野の強風）に耐えられないですが、アイシャはモンゴルの首都ウランバートルに次いで世界で2番目に寒い首都アスタナで吹雪やあられを耐え抜いたのです。「カザフスタンの人たちは、クリスマスにするような贈り物の文化があるのでしょうか？」どうやら、退屈な冬の間、誰もが魔法のように冬の憂鬱を忘れ、陽気に贈り物を交換し始める新年は祝うそうです。意外なことに、カザフスタン人は春分の日のカザフスタンの正月、Nauryz/Nowruzにはプレゼントを交換しないのです。(アイシャの家では、Nauryzに馬肉料理を食べるそうです。馬肉はカザフの伝統的な料理です。)

エマ (11F, 国際教養学部, 台湾出身)

「2022年がもう終わってしまうなんて信じられますか？」冬の訪れは今年の終わりを告げ、エマが人生の意味について考えるきっかけとなります。中野駅からの帰り道、

「Boulevard of Broken Dreams」や「The Meaning of Life」は、そんな思いを込めた曲たちです。新年の抱負は達成できたかと聞かれれば、「もうダメだ」と落ち込みますが、同じように憂鬱な気分になっている人には、「Iridescent」がおすすめです。エマがクリスマスを迎えたとき、「Back to December」と「Feliz Navidad」は気分を盛り上げてくれる名曲です！みんなが素敵なクリスマスを過ごせたといいなと思っていました。クリスマスを祝う人の多くは忙しくプレゼントを交換しますが、エマと私のもう一つの共通点は、毎年旧暦によって季節が変わる「東仔」を祝うことです。台湾では汤圆（もち米のおにぎり）、中国では餃子（餃子）を食べます。私の祖母は、シンガポールは一年中夏なのに、私に汤圆を作ってくれるんです。一方、エマは今年、日本で友人たちと手作りの汤圆を作るのだそうです。



- 「Boulevard of Broken Dream」 / Green Day
- 「The Meaning of Life」 / The Offspring
- 「Iridescent」 / Linkin Park
- 「Back to December」 / Taylor Swift
- 「Feliz Navidad」 / Jose Feliciano

豆知識:

伝統的な中国のお祭り、冬至は今年の12月21日に始まります!

ゆなは毎年クリスマスをお祝いしていて、今年は友達の家でクリスマス会をする予定だそうです。プレゼント交換をしたり、映画を観たり.....クリスマスはあっという間に過ぎますね！新年を迎えるまでは、部屋の大掃除をしたり、年賀状を書いたりして忙しくなりますが、毎年紅白歌合戦は必ず見るそうです。出演するアーティストがステージで準備しているのを見るのが好きみたいです。また、年末年始といえば、「高校2年生の大晦日の時、家族からディズニーのチケットをサプライズでプレゼントされたことがあって、ずっと行きたかったからとても嬉しかった思い出があります！」と教えてくれました。ちなみに、ゆなのおすすめの曲はなんと、今年の紅白歌合戦のために予習している曲ではなく、クリスマスソングばかりでした！



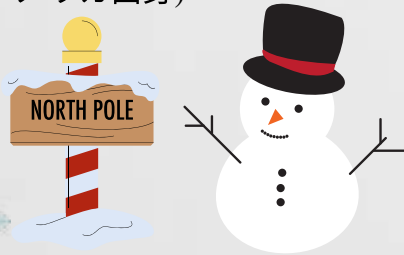
ゆな
(11F, 文学部,
日本出身)

豆知識:
日本では12月31日を
大晦日と呼びます。

- 「silent」 / SEKAI NO OWARI
- 「メリクリ」 / BoA
- 「Santa Tell Me」 / Ariana Grande
- 「雪の華」 / 中島美嘉
- 「クリスマスソング」 / back number



ゆきの
(11F, 国際教養学部,
アメリカ出身)



- 「Anti-Hero」 / Taylor Swift
- 「It's Beginning to Look a Lot like Christmas」 / Micheal Bubl 
- 「So Much Wine」 / Phoebe Bridgers
- 「I Wanna Be Yours」 / Arctic Monkeys
- 「まつり」 / 藤井風

クリスマスが近づくと、たくさんのプレゼントをもらい、新しい思い出を作ることができます。ゆきのは、両親がクリスマスツリーの下やストッキングの中にプレゼントを置いていてくれたこと、シークレット・サンタで友人とプレゼント交換をしたこと、ニューヨークを訪れてロックフェラーのクリスマスツリーを見たこと、ニューヨーク・シティ・バレエやラジオシティ・ロケットズの「くるみ割り人形」などのパフォーマンスを見たことなど、幼い頃の思い出を話してくれました。雪が降る冬はアイススケートやスキーが楽しみですが、大雪が降ると学校が休校になり、代わりに家族で雪かきをする日が来ることもあったそうです。家族と離れて暮らす寮生活。ゆきのをはじめ、寮の部屋で過ごす時間に音楽を求めている人は多いのではないのでしょうか。「So Much Wine」は、寒い冬に寮の暖かい部屋で夜遅くまで勉強する(=引きこもる)のにあった曲調で、「I Wanna Be Yours」は、1日の終わりにリラックスするためのスロービートです！

ここ数週間の強風と降雨で、紅葉のほとんどが木から吹き飛ばされ、悲しいことに、紅葉は徐々に姿を消しつつあります。日を追うごとに昼が短くなり、夜は果てしなく長くなっていきます。夜が長くなると、葉の代わりにクリスマス・イルミネーションが輝き始めます。子供心にも嬉しい悲鳴です。

今学期はとても短いものでした。冬休みが待ち遠しいですが、中間試験や期末試験に向けて、水分補給と防寒をお忘れなく！

愛って何だろう？

writer: Kokone
translator: Mei
designer: Shiki

冬といえば、クリスマスや年越しなど、ワクワクとしたイベントがたくさんですね。今年20歳になった筆者は成人式で高校時代の仲間たちと久しぶりに集結できるので、楽しみにしています。家族や友達、大切なあの人に感謝や今回のテーマである「愛」の気持ちを伝えるための、とっておきの季節、それが冬。今回は寮生の皆さんに「愛」を感じた出来事について聞いてみました！



まこさん(政治経済学部2年)



ゆなさん(文学部2年)



しょうたろうさん(教育学部1年)

1. 自分が最近愛を注いでいるもの
2. 最近愛を感じた出来事
3. とっておきのご自愛方法

まこさん

【自分が最近愛を注いでいるもの】

1. 私が愛を注いでいるものは、ズバリ「コーヒー」です！高校生の頃からお菓子と一緒にコーヒーは飲んでいたのですが、大学生になり「珈琲研究会（通称こひけん）」に入ってからというもの、すっかりコーヒーの虜です。コーヒー好きなWISH仲間もできて、カフェ巡りなどをみんなで楽しんでいます！

(こひけんでのハンドドリップ大会の様子)

【最近愛を感じた出来事】

2. なんと、私は所属している「珈琲研究会」の幹事長になりました！実は今年で創設50周年のこひけん！そんな節目の年に幹事長を務められるなんて、光栄です。これからもさまざまな企画やイベントでこひけんを盛り上げていきたいです。

【とっておきのご自愛方法】

3. 朝食後にお気に入りのコーヒーを淹れることで自分を癒しています。淹れたてのコーヒーの香りはとっても良くて、本当に心が落ち着きます。コーヒー屋さん巡りもまた、癒しの一つです。幸い、中野や高円寺には美味しいコーヒーが飲めるお店がたくさんあるので、開拓しがいがあります。気さくな店員さんも多く、店員さんたちとコミュニケーションをとるのも楽しみの一つです。



(高円寺の porta coffee standのラテ)

【筆者の呟き】

私も以前、まこさんにコーヒーを淹れてもらったことがあります。（まさか後にこひけんの幹事長になる人からコーヒーをいただけるなんて！）私はコーヒーの苦味があまり得意ではないのですが、そんな私でも飲めるようなコーヒーを紹介してくれました。コーヒーの風味の違いについてや、使う器によって香りの広がり方が変わることについてなど、色々詳しく聞くことができ、とっても興味深かったです。



ゆなさん

【自分が最近愛を注いでいるもの】

1. 色とデザインがとっても素敵なベースに一目惚れし、2週間前に購入してからは、もっぱらベースの練習ばかりしています。まだまだ初心者ですが、たくさん練習して、好きな曲を弾きこなせるようになりたいです！

【最近愛を感じた出来事】

2. 私が所属している「ヨコシマ。」というアコースティックバンドサークルでたくさん愛を感じています。月に一回ライブを行い、みんなで楽しく演奏したり、活動外でもカラオケに行ったり、遊びに行ったりと、私にとってすごく大切な居場所です。最近は部室でみんなと音楽や趣味について語り合う時間が大好きです。

【とっておきのご自愛方法】

3. スイーツをたくさん食べることが私を癒す方法です。甘いものがとにかく大好きなので、新しく気になるお店を見つけてはカフェ巡りをしています。特に抹茶を使ったスイーツには目がなく、抹茶プリン、抹茶テリーヌ、抹茶パフェなど、今まで色々な種類の抹茶スイーツを開拓してきました。次は抹茶マカロンが美味しいと噂のお店に行く予定で、待ちきれません！



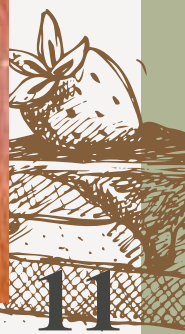
(神楽坂にある神楽坂茶寮)

【筆者の眩き】

ゆなさんはいつも色々な美味しいお店を知っていて、私も何度かゆなさんにごはん屋さんに来て行ってもらったことがあります。さらに、この上ない抹茶愛を語ってくれたゆなさんですが、抹茶スイーツの写真が選びきれず、候補写真をたくさん送ってくれました。彼女からのLINEを見た私は、お腹を空かせてしまい、深夜にそのLINEを見たことを後悔するのです。。。



(澁谷にあるcafé 1 part)



しょうたろうさん

【自分が最近愛を注いでいるもの】

1. 海外のオーケストラのパフォーマンスを観に行くことに愛を注いでいます。僕は特に、指揮者に注目をしていて、「その指揮者じゃないと作れない音楽」みたいなものに特に魅力を感じます。ひとひねりある指揮者、っていうんですかね。。。最近だと特にロンドン交響楽団(London Symphony)のパフォーマンスに注目しています。

【最近愛を感じた出来事】

2. オーケストラを通して、たくさんの人々とのつながりができ、そんな瞬間に愛を感じることが多いです。例えば観客に学生がたくさんいるオーケストラを聴きに行った時に右隣に座っていた観客がいたんですけど、その場で話しかけたら意気投合して後日、その方が出演するパフォーマンスを観に行ったら僕のことを覚えてくれていたんです。他にも、所属している吹奏楽団の出演で授業を途中で抜けないといけなかったんですけど、その授業で公演の宣伝をしたら、同じクラスの子たちが遊びに来てくれて、差し入れまでもらっちゃいました。この出来事を機に、またそのメンバーの一人と遊びに行くのでとっても楽しみです。

【とっておきのご自愛方法】

3. 永井玲衣さんという哲学研究者の『水中の哲学者たち』という本が僕の癒しです。疲れているけど、ほっと一息つきたい時に読むことが多いです。すごく難しい言葉は使っていないんですけど、使っていないからこそその、その素直な語り口が特に素敵だなんて思います。ときめきがたくさん詰まった本なので、気になった方は読んでみてください！



【筆者の眩き】



しょうたろうさんが紹介してくれた『水中の哲学者たち』の表紙を開くと、何とそこにはご本人からのサインが！「会いに行ってきたんですよ、愛だけに、、？」と言いながら、ふふっと笑うしょうたろうさんがいたずらっ子みたいで、とてもキュートでした。オーケストラ関連の活動に勤しんでいて、色々忙しそうだけど、応援しています！
寮生の皆さんから、さまざまな形の「愛」を共有してもらって、心がとっても温かくなった筆者でした。寒い日々が続いていますが、この記事を通して皆さんにもほっこりとした気持ちになってもらえたら嬉しいです。

さて、何か冬らしいいい写真がないかなとカメラロールをさまよっていた筆者でしたが、2022年の初めに東京でたくさん雪が降った時に道端で出会ったかわいい雪だるまの写真がありました。耳があるから、雪だるまというより雪猫(?)なのかな。。



そして、つい先日WISH合同フロアイベントでは、六本木のイルミネーションを見に行ってきました。寒いのは得意ではなかったけれど、こんな景色が見られるなら、寒いのも悪くないな、と思いました。皆さんもこの冬、たくさんの素敵な景色に出会えますように！

Photos by Marina



Going places

Designer: Miho



Old couple on the beach



Obaachan



Hokkaido

Best SI Program, WISH Event of 2022



Writer: Rin
Translator: Joan
Designer: Lindsay

Rin: もう十二月だね.....早いね～。去年の今頃は何していたか覚えてる？

Lisa: 勉強かな。クリスマスも勉強してた！

Rin: 確かにそうだよ。私もクリスマスに模擬試験をやった記憶がある！

Lisa: あれから一年経つなんて信じられないね。

Rin: そうだね～。今年が一番の思い出は何？

Lisa: WISHの友達に出会えたことは今年一番嬉しかったことかな。

Rin: いいこと言うじゃん！

Lisa: でしょ。やっぱり一緒に暮らしているから本当に仲良くなれるよね。家族みたいだね。

Rin: うんうん。本当にそう。じゃあ、今年一番思い出に残っているWISHのイベントは？

Lisa: うーん、やっぱりナイトウォークかな。東京駅からお台場まで班ごとに歩いて、すごく疲れたけど、同じ班の人とたくさん話せたのがよかった！

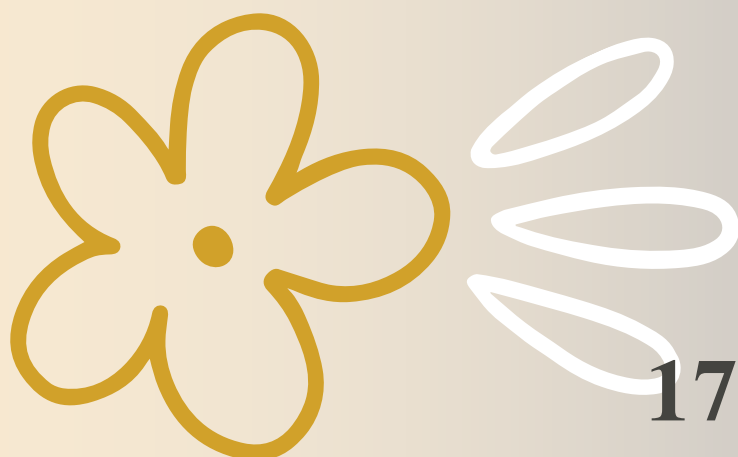
Rin: ナイトウォークね！確かに楽しそうだった！私は行けなかったから来年こそは参加したいな。

Lisa: そうね。来年リベンジしよう。

Rin: SIプログラムはどうだった？

Lisa: 私が印象に残っているSIは、大学生時代に留学していた社会人の方のお話を聞いたことかな。敷かれたレールに沿って行動したり、他人と比較して大学生活を過ごしたりするのではなくて、自分が本当に何をやりたいのかを考えて、それを行動に移すことが大切だって学んだよ。

Rin: ふむふむ。SIで学んだことで、普段の生活に活かしたこととか、実践できたことはある？



Lisa: 一番は留学に応募する決心がついたことかな。お話をしてくれた社会人の方が、色んなことに挑戦している方で、自分もそうなりたと思ったの。私もやりたいことのために、自己分析をするようになったんだ。たとえば、将来の目標から逆算して、今何をすべきか考えて行動するように意識してる！

Rin: なるほどね～。来年の目標とかはある？

Lisa: 留学先でも、なぜ留学をしているのかという目的を忘れず、留学を通じて学びたいことを身につけられるように、一日一日を大切に過ごしたい。将来につながる留学になるといいな。

Rin: そうだね、留学に行くまでの準備期間も大切にしたいよね。来年のSIにこんなのあったらいいなっていうのを教えてほしい！

Lisa: オンラインで開催されるSIじゃなくて、対面形式で、いろんな人と意見交換できるようなSIが増えたらいいな。ZOOMのブレイクアウトルームとかだとやっぱり話しづらい時がある。ちょっと堅く聞こえるかもしれないけれど、みんなでディスカッションできる形式がいいから、たとえば社会問題について話し合うSIは参加したくなる！

Rin: そうだね、やっぱり直接意見交換できたら良いよね。

Lisa: うん。今年もいい年だったな。来年もいい年になるといいな。



RA YEARBOOK

Photos by Nicholas / Designer: Amm



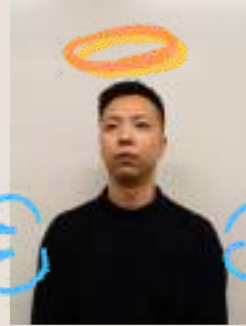
高山侑也

人の心は発言では動かない
人の心を動かすのは行動



山形怜央

「寮生活」 = 「アベンジャーズは楽しめて、スーパーマンにはできないこと」



伊妻海斗

俺は俺、君も俺



徳久武蔵

写真の答えはここに→
https://youtube.com/shorts/w8wJs_yjo6w?feature=share

lee



川口莉央

なんのために生まれて、なにをして生きるのか。答えられないなんて、そんなのは嫌だ！
-アンパンマン



北村怜子

活用なき学問は、無学に等しい。
-福沢諭吉
(慶應義塾大学創設者)



河合美歩

もしも困ったことがあったら、助けてって言っていいんだよ。
-Snoopy (Charles M. Schulz)



Cho Sunwoo

炊飯器は4年間1回しか使ったことがありません。



山本有莉咲

Wishで出会えた全ての人に感謝感謝です！



辻萌花

WISHTIMESアイシテルヨ



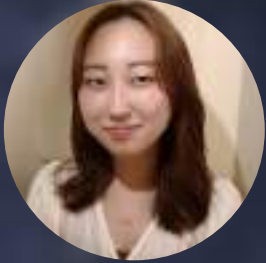
田中友紀子

AM2:00が1番元気

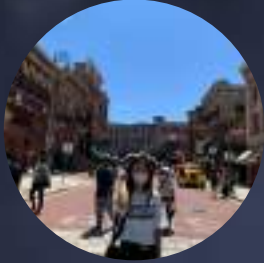


Contributions

Writers



Rin



Natsumi



Xan



Kokone



Chrisanne

Designers



Marielle



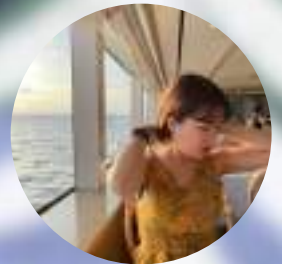
Shiki



Lindsay



Hanna



Miho

Translators



Mei



Yuha



Momo



Moeka



Joan

Creatives



Nicholas



Marina



Yijing



Amm

RA Supporters